

令和5年10月4日

令和5年度関東東海北陸農業試験研究推進会議
水田作畑作・作業技術部会 事務連絡

部会長	中日本農業研究センター	転換畑研究領域長	吉永悟志
副部会長	農業機械研究部門	知能化農機研究領域長	林和信
副部会長	作物研究部門	スマート育種基盤研究領域長	石井卓朗
副部会長	植物防疫研究部門	雑草防除研究領域長	小荒井晃
副部会長	中日本農業研究センター	水田利用研究領域長	白土宏之

標記の推進会議は、別途公文でお知らせしておりますが、研究会では「2023年夏季高温の実態と気候変動対策技術」の検討と実態報告に加え、若手研究員を中心とした研究情報交換を行います。部会では、例年通り「推進すべき技術的課題」の検討と「研究成果の相互の紹介」を中心に実施いたします。

つきましては、関係者のご出席と資料作成をよろしくお願い申し上げます。

記

1. 開催日時：

研究会	令和5年11月16日（木）	10：00～17：00
部会	令和5年11月17日（金）	9：00～12：00

2. 開催方法 Web会議（Teams）

（事務局 中日本農研3号館3階第1会議室 312号室 Tel：029-838-8884）

3. 議 事

<研究会> 11月16日 10：00～17：00

第1部 若手研究員を中心とした研究情報交換 10：00～12：00

重要研究課題を幾つか設定して、課題別に6-8名のグループを作り、各自10分程度の持ち時間で研究情報交換を実施します。若手研究者は、研究歴10年未満を目安としますが、ブランクがあった、新しい専門分野を担当することになった等の事情も考慮します。

各県1名以上ご参加いただけるようご配慮ください。

参加申し込み後、研究課題およびその参加者を決めます（事務局に一任ください）。各課題別に進行役（農研機構研究員）を決め、進行役から各参加者に情報交換会のURLや進め方について連絡いたします。

第2部 「2023年夏季高温の実態と気候変動対策技術開発」 13：10～17：00

1) 話題提供

①2023年夏季高温の特徴と水稲作での影響の評価（仮）

農研機構 農業環境研究部門 エグゼクティブリサーチャー 長谷川利拓

②水稲の高温耐性品種の育成状況

—高温による白未熟粒、胴割れ粒の発生抑制に向けて—

農研機構 中日本農業研究センター 水田利用研究領域 上級研究員 中込弘二

③大豆作における夏季高温・干ばつの影響と対策

農研機構 中日本農業研究センター 転換畑研究領域 グループ長 高橋智紀

2) 都県からの実態報告＋総合討議

* 都県からの提出資料を整理して、話題提供内容を踏まえた討議を行います。

<部会> 11月17日 9:00～12:00

1) 雑草被害と対策に関する情報交換

* 関東東海北陸地域における問題雑草の被害と対策に関して議論を行います。また、各都県にご協力いただいている「全国の水田における雑草イネの発生状況調査」の結果から関東東海北陸地域の発生状況をご報告します。

2) 品種育成に関する情報交換

* 水稲、麦類、大豆の新品種の紹介や育成に関する動向について情報提供します。

3) 地域研究・普及連絡会議で取り上げられた国が推進すべき技術的課題に関する検討

* 「技術的課題」について分野別に課題を整理して情報交換や連携に関する検討を行います。

4) 都県・独法の研究成果の相互の紹介

イチオシ成果および技術カタログ(旧:最新農業技術・品種 20XX) 推薦候補の検討

* 昨年度の研究成果の情報共有を行うとともに、部会からのイチオシ成果を選定します。

5) 分野における研究情勢に関する意見交換

* 各都県の研究情勢の報告をもとに、情報交換と討議を行います。部会の運営に関する要望についても討議します。

6) その他

4. 資料の作成について

資料作成は任意ですが、会の趣旨をご理解いただきご対応のほどお願い申し上げます。

様式は別紙の通り(適宜アレンジしていただいて結構です)。

<研究会資料>

1) 2023年夏季高温の実態と気候変動対策技術開発に関する実態報告

本年の作物への影響の実態や関連する研究の取組状況(予定を含む)を整理して討議。情報共有を進め、連携につなげたいと考えております。様式:別紙1にご記載ください。

2) 若手研究員を中心とした研究情報交換

若手研究者を中心とした研究者間の交流を促進するため、少人数のグループでの研究情報交換の場を設定します。様式:自由(各機関の研究概要書等をご活用ください。パワーポイントでのご説明も可能です。)資料の提出方法、締め切りは、別途、各課題の進行役より連絡いたします。

<部会資料>

1) 都県・国立研究開発法人の研究成果

各都県で得られた令和4年度研究成果の相互紹介を実施します。令和4年度以前の成果であっても、イチオシ成果や技術カタログとして普及すべき成果候補は対象とします。積極的にご紹介をお願いします。

各都県で利用されている様式のままで結構です。A4 縦置き 余白を縦横それぞれ 25mm 以上取ってください。

2) 分野における研究情勢に関する意見交換

当部会に関連する研究情勢の概要、今後、生産現場で問題となりそうな事項についてご報告ください。様式:別紙2(適宜変更可)にご記載ください。

3) 部会に対する要望事項

次年度の本部会研究会で取り上げるべきテーマや当部会への要望、他部会への要望がある場合に作成してください。様式：別紙2（適宜変更可）にご記載ください。

研究会および部会用資料はメール添付ファイルで、事務局宛にお送りください。
締め切りを11月9日（木）17時とします。

5. 会議出席申し込み

出席申し込み（エクセルファイル）に記載し、メール添付ファイルで、事務局宛にお送りください。締め切りを11月1日（水）17時とします。参加申込書に記載頂いたアドレスに Teams の URL 等をご連絡します。（若手情報交換会の URL は別途連絡します）

6. 事務局（部会担当）：

農研機構 中日本農業研究センター転換畑研究領域 栽培改善グループ 福嶋陽
Tel：029-838-8852、E-mail：kanto-suiden@naro.affrc.go.jp (afuku@affrc.go.jp)

* 関連情報は下記の中日本農研 WEB サイト内の推進会議ページに掲載します。

https://www.naro.go.jp/laboratory/carc/contents/suishin_kaigi/index.html

7. スケジュールのフロー

会議参加申し込み（別紙出席申込書、ML登録用）：11月1日（水）17:00まで
資料提出：11月9日（木）17:00まで

1) 研究会資料

- ① 若手情報交換（参加者集約後に提出依頼）
- ② 夏季高温実態（別紙1）

2) 部会資料

- ① 各機関の研究成果情報（各自様式）
- ② 都県における研究情勢（別紙2）
- ③ 部会に対する要望事項（別紙2）

* 事務局宛に提出
(kanto-suiden@naro.affrc.go.jp)

資料配布+URL通知：11月13日（月）17:00まで（変更の可能性あり）

事務局より参加者へ送付（若手情報交換のURLは個別に連絡）

研究会+部会：11月16日（木）～17日（金）

当日16日は、早めに接続を可能として、トラブルを回避したいと思います。

<研究会資料> 2023年夏季高温の実態と気候変動対策技術開発
2) 都県からの実態報告
〇〇県

様式：別紙 1 (適宜変更可。A4：2枚以内)。A4 縦置き 余白を縦横それぞれ 25mm 以上取ってください。

赤字は作成時の留意事項です。提出時に削除してください。

2023年夏季高温の実態と気候変動対策技術開発 に関連する研究等の取り組みについて、ご記載ください。

(1) 夏季高温の作柄への影響と対応技術

① 水稲、大豆作における夏季高温による収量・品質等への影響

記載時点で見込まれる状況（作柄に加えて、高温に関連する病虫害発生や冠水、乾燥等の影響を含む）を記載（具体的なデータがあれば可能な範囲で掲載してください）

② 水稲、大豆作において導入を推奨している高温条件での対策技術（品種、栽培法）

（現地への導入状況やその効果について情報があればご記載ください）

(2) 夏季高温対策に関連する研究動向

① 実施中の研究課題（課題名と実施内容の概略）

② 今後の研究推進の検討状況（今後の取り組み予定や連携や情報の希望等）

別紙 2

<部会資料>
〇〇県

様式：別紙 2（適宜変更可）。A4 縦置き 余白を縦横それぞれ 25mm 以上取ってください。
赤字は作成時の留意事項です。提出時に削除してください。

1) 分野における研究情勢

当部会に関連する研究情勢の概要、今後、生産現場で問題となりそうな事項についてご報告ください。

2) 部会に対する要望事項

次年度の本部会研究会で取り上げるべきテーマや当部会への要望、他部会への要望がある場合に記載してください。